FREE
ご自由に お持ちください。

No.814 7
2021 July

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

みどりの女神さんが来ました

みどりの女神2021 小林優希さん（天皇林の前で）

揖斐川町 県緑推と（緑地公園 育樹の碑の前で）

森のようちえん「こだぬき」の子どもたちと

みどりの女神 番組収録中

●詳細は、4ページ「みどりの女神さんが来ました！！」をご覧ください。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（7～8月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
7月17日㈯	**ぎふ木遊館 1周年記念感謝祭**	●1周年を記念したセレモニー及び竹下景子名誉館長による朗読会 ●夜の木遊館（普段とは違う、夜の雰囲気の中で遊べます） ※事前予約制。ホームページの予約フォームからお申し込みください。	ぎふ木遊館 ぎふ木遊館　058-215-1515
7月25日㈰	**GIAHS鮎の日 ぎふ木遊館連携 イベント**	木製稚鮎づくり、木製魚釣りゲームなど、清流長良川にちなんだ体験。	清流長良川あゆパーク 清流長良川あゆパーク　0575-85-2115
8月4日㈬	**狩猟免許試験**	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時　間：9:30～17:00 ●申　込：6/30～7/14 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜県立森林文化アカデミー 各地域を所管する県事務所、 または環境企画課 （058-272-1111 内線 2701）

目次 Contens

イベントカレンダー（一般向け）……2
飛騨高山・森のエコハウスを
ぎふ木育ひろば地域支援拠点に認定しました……3
100年の森林づくり計画の策定状況について……3
緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました……4
みどりの女神さんが来ました!!……4
多発する山地災害への備え……5
2021年度　山地災害防止標語及び写真コンクール……5
山の歳時記(191) アカメガシワ……6
山のおじゃまむし(360) ―百々ヶ峰登山、NIクワガタ―……7
ぎふ木遊館通信……8
morinosプログラム紹介!!……9
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"(3)……10
シリーズ：「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」……11
森林と人を活かす知恵(102) 木材の輸送過程を見つめるウッドマイルズ……12
岐阜県立森林文化アカデミー開学までの歩み ―その1―……13
木の香るぎふの施設(100) 岐阜県立大垣商業高等学校食堂……14
地域の人 森林づくりを通して地域社会に貢献したい！……15
治山・林道技術成果……16
研究コーナー ヒノキ実生コンテナ苗の成長特性を考える……17
普及コーナー 揖斐管内における主伐・再造林のその後の状況ついて……18
スマート林業通信(13)　OWL技能向上・普及研修を実施中です……19
国有林の現場から(57) 「森の巨人たち」in 東濃……20
水源地域保全条例について……21
林業者向けお知らせ……21
市況……22

表紙●詳細は、4ページ「みどりの女神さんが来ました!!」をご覧ください。

飛騨高山・森のエコハウスを ぎふ木育ひろば地域支援拠点に認定しました

多くの皆さんが身近に「ぎふ木育」を体験することのできる拠点として、岐阜県内各地の児童館、図書館、子育て支援センター等の地域に開放された施設に、ぎふの木のおもちゃと家具等を備えた常設の「ぎふ木育ひろば」を設置しています。（令和３年３月末現在：101施設）

さらに平成３０年度からは、「ぎふ木育ひろば」認定施設の中から、地域への「ぎふ木育」の普及推進を担う施設を「地域支援拠点」として認定しています。各務原市にある「子ども家庭支援センター　ラ・ルーラ」、大野町にある「子育てはうす　ぱすてる」に続き、令和２年度は、高山市にある「飛騨高山・森のエコハウス」を３施設目として認定しました。

「地域支援拠点」では、専従スタッフが常駐するほか、地域に「ぎふ木育」を普及するための木育イベントを開催しています。

飛騨高山・森のエコハウス

【令和２年度認定】

所在地：〒506-0031 高山市西之一色町３丁目 820 番地１
木育スペース：241 ㎡　　**専従スタッフ**：５名
開館時間：10 時から 16 時まで　　**休館日**：日曜日

「地域支援拠点」については、今後も認定を進め、「ぎふ木育」のさらなる地域への普及推進を目指していきます。

ぜひ、みなさまもお近くの「ぎふ木育ひろば」を訪れてみてください。

「ぎふ木育ひろば」　検索

ぎふ木育ひろばについてはこちら▶

【恵みの森づくり推進課　木育推進係】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3035）恵みの森づくり推進課木育推進係まで

100年の森林づくり計画（森林配置計画）の策定状況について

岐阜県では、第３期岐阜県森林づくり基本計画において、望ましい森林配置への誘導や人工林の齢級構成の平準化を目指す「100年の森林づくり計画（森林配置計画）」の策定に取り組んでいます。令和２年度末までに、市町村ごとに開催された地域検討会において、県下の地域森林計画対象民有林の全域（約６８．３万ha）について、「木材生産林」（主たる目的が木材の生産である森林）または「環境保全林」（水源涵養など公益的機能の高度な発揮を期待する森林）のどちらかに区分することについて合意形成され、この２区分について配置計画が策定されました（図1）。

配置計画策定の最終年度である令和３年度は、地域の特色や実情に合わせて上記の２区分に重複して設定することができる「観光景観林」（観光道路から眺望できる景観的価値が高い森林）や「生活保全林」（集落や生活道路に隣接し住民生活を守るための森林）の策定をさらに進めていきます。

配置計画の策定により、将来目指す森林の姿を明確にして、それぞれの区分にふさわしい施策を実施し、１００年の森林づくりを推進していきます。

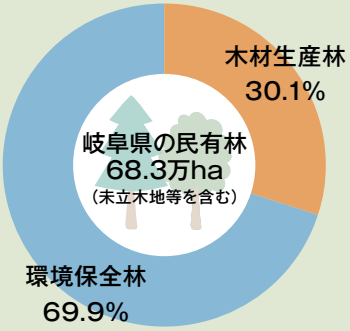


図1　森林区分の合意形成の状況

将来目標区分別の面積（令和2年度末現在）

将来目標区分	面　積
①木材生産林	205,277.76ha
②環境保全林	477,718.38ha
合　計	682,996.14ha
③観光景観林	50,235.52ha
④生活保全林	17,293.08ha

※③④は①または②に含まれる

【林政課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3023）100年の森づくり推進室 森林企画係まで

緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状をお贈りしました

6月4日（金）に公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第10回定時総会の席上で、佐藤武彦会長（県議会議長）から次の方々に表彰状並びに感謝状をお贈りしました。（敬称略）

■緑化功労者岐阜県緑化推進委員会会長表彰

個　人
長谷川政弘　（揖斐川町）
山田　將浩　（御嵩町）
内木　篤志　（中津川市）

団　体
水土里隊（御嵩町）
日吉町まちづくり推進協議会（瑞浪市）

内木さん　佐藤会長　長谷川さん

■緑の募金感謝状（令和2年に10万円以上の寄附）

株式会社平和堂	（滋賀県彦根市）
ダイドードリンコ株式会社	（大阪市）
岐阜トヨペット株式会社	（岐南町）
株式会社大垣共立銀行	（大垣市）
株式会社河合寿司	（大垣市）
西濃緑化推進協議会	（大垣市）

ダイドードリンコさん　佐藤会長　大垣共立銀行さん

表彰を受けられた皆様には、これからも地域の森林づくりや緑化活動に益々ご活躍されますとともに、緑の募金にご協力をよろしくお願いいたします。

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事　黒﨑 隆司】

みどりの女神さんが来ました！！

公益社団法人国土緑化推進機構がホームページ上で配信する「チャンネル国土緑化」の新たな企画として、近年の全国植樹祭・育樹祭を開催した地域において、その後の取り組みなどを「みどりの女神」が取材して紹介する番組が制作されることになりました。

この度、その第1回目に岐阜県が選ばれ、「日本全国　みどりを育む現場のいま　～みどりと清流の国・岐阜県をたずねて～」（仮題）として、「みどりの女神2021」に選ばれた小林優希さんが揖斐川町谷汲の緑地公園を訪れました。みどりの女神さんは、県緑推・揖斐川町の担当者やいび森のようちえん「こだぬき」の子どもたちのインタビューを行った後、天皇林へ移動し、皇室三代にわたって育まれたスギの木を見て、豊かな森林を継承することに加え、伐採して利用している取り組みに深い感銘を受けられた様子でした。

取材の様子
（揖斐川町・県緑推）

天皇林のスギの木を見上げて

次の日は、郡上漁業協同組合が広葉樹植栽を実施している「長良川源流の森育成事業」の郡上市大和町の現地を訪れ、取材クルーが白滝組合長のインタビューを収録しました。

なお、この番組は、7月ごろに「チャンネル国土緑化」で配信される予定で、当委員会のホームページでもご案内しますので、楽しみにしてください。

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会
専務理事　黒﨑　隆司】

みどりの女神2021
小林優希さん

郡上漁業協同組合長の
インタビュー

多発する山地災害への備え

例年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な被害が発生しています。岐阜県においては、令和2年に発生した7月豪雨により下呂・飛騨地域を中心に多大な被害が発生しました。

このような被害を軽減するため、県では、地形や地質から見て山くずれや土石流の危険度が高く、人家や道路へ直接影響が大きい箇所を山地災害危険地区として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害をなくすためには、自分の身は自分で守るという自助や共助の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区や避難所を確認するなど、早めの備えをお願いします。

なお、避難情報については、令和３年５月２０日から「避難勧告」は廃止され「避難指示」で必ず避難することになりました。豪雨等で災害が予想される場合は、自治体の指示やテレビ、ラジオなどの情報に注意し、レベルに応じた確実な避難行動をとるよう心がけましょう。

山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。
（https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html　より、
「山地災害危険地区」で検索）

\2021（令和3）年度/

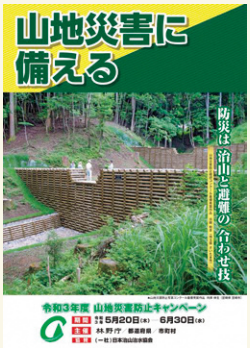
山地災害防止 標語 及び 写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン（5月20日～6月30日）の関連行事として、「山地災害防止　標語及び写真コンクール」が、一般社団法人 日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も6月から9月まで、山地災害防止に係る標語と写真作品を募集しています。（締切9月30日（木）当日消印有効）

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターは、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。

多くの方からの応募をお待ちしています。



令和3年度
山地災害防止キャンペーンポスター

【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014　東京都千代田区永田町2-4-3　永田町ビル4階
（一社）日本治山治水協会　標語･写真コンクール係　TEL:03-3581-2288、FAX:03-3581-1410

【治山課】

山の歳時記 191

YAMA NO SAIJIKI

アカメガシワ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「これは雄株ですか」、7月の樹木観察で花を咲かせたアカメガシワを前に聞かれました。

アカメガシワ（Mallotus japonicus）は本州以南に分布する落葉高木で、6～7月に若い枝の先に円錐花序をつけ、花弁のない黄緑色の小さな花を密生させます。雄株と雌株に分かれる雌雄異株で、雄株に咲く雄花は多数の雄しべが伸びて目立ちますが、雌株に咲く雌花は雌しべのみの状態です。

9～10月には雌株のみが紫黒色の光沢のある種子をつけ、これを狙ってキジバトなど野鳥が訪れます。種子は休眠性が高く、そのまま播いても発芽し難いのですが、一度高温環境にさらせば発芽率は飛躍的に高まります。温度変化の少ない森林内に落下した種子は長期間休眠しますが、伐採や山林火災に遭遇すると急速に芽生える先駆植物の代表なのです。

春先の新芽と稚葉は毛が密生した鮮やかな紅色で、これがアカメと名がつく由来です。またカシワの名はカシワ（Quercus dentata）のように、葉を食べ物の器として神前にお供えしたり、団子を包んで蒸したことに由来します。地方名でゴサイバ（五菜葉）、サイモリバ（菜盛葉）、メシモリナ（飯盛菜）、ミソモリバ（味噌盛葉）とも呼ばれました。

葉は互生し、赤色を帯びた長い葉柄と3本の葉脈、基部に2つの腺点があるのが特徴です。葉は樹皮とともに染料にも利用され、アイで藍下染めした繊維をアカメガシワの葉と樹皮で染め重ねると純黒色に染まります。葉や樹皮、種子で黒く染めた和紙は「比佐木（久木）紙」と呼ばれ、正倉院にも所蔵されています。

樹皮は薬用にもなり、中国では野梧桐と称し樹皮を消炎鎮痛薬や胃酸過多、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胆石などに利用しています。日本でも整腸薬の生薬として、第13改正日本薬局方にアカメガシワの樹皮が加えられ、樹皮のエキス製剤が市販されています。

古くから民間薬で、「切らずに治す腫れ物薬」として樹皮や葉を汗疹や皮膚病、神経痛に用いました。特に樹皮には苦味質のベルゲニン、ルチンなどが含まれ、ベルゲニンには胃液分泌抑制作用と抗潰瘍作用が認められ、ルチンは胆汁分泌を促進するとされます。しかし冬に採取した樹皮は、時にアレルギー症状を発することもあり、取り扱いが難しい薬木とされます。

今では見向きもされないアカメガシワですが、器として、染料として、薬木として有用な樹木であったのです。

▲アカメガシワ

山のおじゃまむし

ー百々ケ峰登山、NIクワガター【第360回】

自然学総合研究所　野平 照雄●*Teruo Nohira*

人間誰しも歳をとると、体力が低下し、物忘れ、気力が萎えるなど老人特有の症状が出てくる。私自身70を過ぎたころから、これに近い症状が出るようになった。女房に「俺の眼鏡しらないか」。「あんたボケたの。かけているじゃない」。頭にあげていたのである。このようなことがよく起こるようになった。しかし、これらは笑い話で済む。困ったのは虫採り。補虫網を振っても逃げられ、競って採りあえばいつも負けるのである。原因は高齢による脚力の低下。足が疲れるからである。これでは駄目だ。足腰を強くしなければ。そこで前から続けていた散歩を週3回から5回にし、歩く時間も30分増やして1時間半以上にした。これを3年続けている。この効果が出てきたのか、前より足が軽くなったような気がしてきた。今年もゴールデンウイークが来た。しかし、コロナの影響で外出は自粛。予定していた家族旅行は断念。こんな時、「子供たちも家の中の生活に飽きてきたので、気分転換のため山登りに行きたい。どこがいい」と娘。「岐阜の百々ケ峰」と私。ここは岐阜市にある山では一番高く、市内から遠方の山々まで一望できるからである。それと、かつてここで珍しいものを採集して「採った!」と胸を熱くした思い出の場所だったからである。

× × × ×

令和3年5月3日。家族7人で出かけた。外出自粛の影響で登山者は少ないだろうと思っているうちに、駐車場へ着いた。ところがどの駐車場も満車。空くのを待っている車が何台もある。子供たちが楽しみにしているので止めるわけにはいかない。悪いと思いつつも自動車道に違法駐車をして歩き始めた。登山道はかつての自動車道でアスファルト舗装の道。ここを登山スタイルの人がぞろぞろ歩いている。異様な光景に映った。このほか体を鍛えるため走っている人や、学校やスポーツクラブの生徒が駆け抜けていく。時には体が接触することもある。しかも、半数近くの人はマスクをしていない。コロナは大丈夫か。こんなことを思ってしまった。子供たちは元気がいい。3人で競うように走って上り、途中で戻ってくる。これをくり返しているうちに、物足りなくなったのだろう。「山道から登りたい」と言い出した。そこで予定を変更して権現山へ行き、ここを下りて百々ケ峰に向かうことにした。やはり山道を歩くのは気持ちがいい。チョウ、トンボ、ハチなどの昆虫やトカゲ、ヘビを見ることができ、子供たちの目は輝いていた。

× × × ×

ある所から急な坂道になった。見上げても頂上が見えない。とても子供たちにはついていけない。やはり歳だと思い、ゆっくり登ることにした。道は丸太の階段だったので、数えながら登っていった。100段を過ぎたころ子供たちが下りてきて「おじいちゃん、大丈夫」。心配だから見に来たという。皆には悪いと思いながらゆっくり登り、ようやく頂上に着いた。階段は187段であった。ここを登るのに20分もかかってしまった。少し休んで出発。今度は下り坂だ。上りに比べ足が軽い。百々ケ峰登山口へ着いた。百々ケ峰は権現山に比べ距離が短く傾斜が緩やかなので、皆と一緒に頂上に着いた。頂上は遠方の山々まではっきり見ることができ、素晴らしい眺めであった。家族全員登山を満喫した。帰りは下り道なので普通に歩けると思った。しかし、違った。登るよりきつかった。下り坂なので普通に歩くと前に倒れてしまう。このため、背中を後ろに倒すようにして歩いた。これが足に負担がかかったのだろう。足元がふらつきはじめた。「下で待っていて」と家族に言って、ゆっくり歩いた。しかし、つま先に力が入らず、よけいふらふらしてきた。これがずーと続いた。苦しかった。あと少しで山道の終わりのところで、足を滑らせて転倒。腰を強打し、立てなくなった。そのまま倒れていたら、近くにいた登山者が集まってきて「大変だ!救急車」、「連れはいないのか」と大騒ぎ。私は「大丈夫です。少し休めば歩けますから」と言っても「誰もが同じことを言う。それで亡くなった者もいる」と聞きもしない。そのうちに家族が来て、この事件?は一件落着。登山歴50年のこのみじめな姿。情けなかった。しかし、1番思い出に残る山登りとなった。

× × × ×

数日後、4年生のIちゃんと2年生のNちゃんが「おじいちゃん、大丈夫。まだ足が痛い」と見舞ってくれた。そして「これ誕生日プレゼント」と言って、紙袋を二人で差し出した。中には色紙を細長く切断して、それを丸めてカブトムシとクワガタムシを作り、台紙に貼り付けた作品であった。おじいちゃんは虫が好きだからという。この優しい心。足の痛みは消えてしまった。「ありがとう。おじいちゃんの宝物として飾っておくよ。それでこの虫に名前をつけたよ。NIカブトムシとNNクワガタムシだよ」と言った。二人は自分の名前が付いたので大喜びであった。この笑顔が愛らしく心が和んできた。

▲孫からのプレゼント

ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館では、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、開館しています！

「木のおもちゃを買いたいけれど、どこで買えますか？」「ネットで探したりするけれど、実際に見て触れて選びたい」という声を聞くことがあります。

ご存じですか？ぎふ木遊館は、岐阜県や全国の木でつくられたおもちゃや雑貨などを販売する木育ショップ「響 hibi-ki STORE」を併設しています。

木育ひろばで親子でいっしょに遊んだ積み木、熱中したコマやけん玉、他にも、かわいらしい木のカトラリーやアクセサリーなどなど。特別な場所・機会だけでなく、ご家庭で暮らしに寄り添い、日常を潤す木のアイテムをご覧いただくことができます。

産地のマークが入った商品POP

全国からセレクトされた商品は、ポップを見れば産地が分かるようになっています。商品を手に取った方に、どこから来ている材なのかを知っていただくことは、森と木と暮らしのつながりを知るぎふ木育の１歩でもあると思います。さらに響 hibi-ki STORE のウェブサイトやインスタグラムでは、商品のおススメポイントだけでなく、作り手の紹介などもしています。

もちろん、岐阜県産の商品も多数揃えています。実は、他では売っていないぎふ木遊館オリジナル商品もあるので、ご来館の折に探してみてくださいね。

「きぼうの木」プレートとスープカップ

ショップには様々な企画とコラボした商品が並ぶこともあります。左の写真は、岐阜県立希望が丘特別支援学校と岐阜県立希望が丘こども医療福祉センターの児童・生徒が「ぎふの木」や「ぎふの森」をイメージして描いた絵を美濃焼で焼いた「きぼうの木」プレートとスープカップ。ぎふ木遊館が福祉施設の並ぶ福祉エリアにあるご縁で販売しています。

また、当館のギャラリー企画展と連動して地域の特産品を販売することがあります。昨年11月下旬に開催した「山県市の豊かな自然と暮らし展」の期間中は、伊自良大実柿の柿渋商品が好評だったため、現在も店頭で販売しています。

選べるギフトセット

「かわいい孫のために」「友達の出産祝いに」「お世話になっているあの方に」など、誰かのために、と想いをもって来店される方もいらっしゃいます。贈る相手の喜ぶ顔を思い浮かべながら選ぶのも楽しいものです。悩んだ時は、選べるギフトセットを作っていただくこともできます。

また、5月の母の日には、「母の日ギフトセット」として、ヒノキの精油、香り袋、バスソルトを組み合わせたセットが登場しました。

美味しいコーヒーが飲めるカフェも併設しています。みなさん、ぜひお立ち寄りください。

響 hibi-ki STORE（運営者：飛騨五木（株））

営業時間　10:00-17:00
休業日　ぎふ木遊館と同じ（水曜定休、水曜が祝日の場合は翌平日が休み）
電話　058-215-1535　Mail　info@goboc.jp
ショップでは、幼稚園・保育所等からの木のおもちゃの導入に関するご相談・注文にも対応

やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！今回は、令和３年度から新たに始まったmorinosミニプログラム（森のジグソーパズル、森のポストカード）についてご紹介します。

morinosでは、ふらっと遊びに来ても楽しめるようmorinosひろばを一般開放していますが、「気軽に参加できるプログラムがあるとうれしい」、「もっと森や植物のことを知りたい」という声がありました。ミニプログラムは皆様に森に興味を持ってもらい、森とつながるきっかけをつくってもらうために始めました。

森のジグソーパズル

森のジグソーパズルづくりでは、まず丸太をのこぎりで1～2ｃｍ幅になるよう輪切りにするところから始まります。みんなで協力して輪切りにしたら木の匂いを嗅いでみます。思っているより強い新鮮な木の匂いにびっくりします。

木の輪切りができたら表も裏も絵を描きます。最後に、思い切ってハンマーで割って完成です。割る回数によって4ピースから20ピースくらいまで難易度を変えられるのも面白いところ。思い出に残る世界に一つだけのパズルが完成しました。

▲家族で協力して丸太を輪切り

▲真剣に絵を描きます

▲ハンマーで割る！

森のポストカード

ポストカードづくりは、まずは葉っぱ探しから。形が気になる葉っぱや穴が開いている葉っぱ。あれもこれも気になるものを集めます。この時、そこにいる虫のことや自然の中でできる遊びのことにも話題が広がります。

次に室内に移動し、葉っぱ選び。「どれにしようかな」と選ぶときに葉っぱごとの形や色、質感の違いを感じます。絵の具を付けた葉っぱを紙にペタっと押し付けてしばらく待った後、そっと葉っぱを外したら完成です。ステキなポストカードができました。

▲「これ気になるー。変なかたちー。」

▲どれにしようかな。よく観察

▲完成したポストカードを手に記念撮影

こうした体験はmorinosのHPで開催をお知らせしています。新型コロナウイルス感染状況によりプログラムを休止する場合があります。

興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画You Tubeをご覧ください。

ホームページ　https://morinos.net

YOU TUBE　検索「morinosチャンネル」

開所時間　10:00～16:00

定休日　毎週火･水曜日

morinosHP

YouTube「morinosチャンネル」

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

3

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業

教育・福祉関連施設に、岐阜県産材で作成された机や椅子等を導入することに対して、支援を行う事業です。

【令和３年度　事業概要】

❶ **対象事業者**：市町村、学校法人、社会福祉法人等

❷ **対象備品**　：机、椅子、教卓、ロッカー、下駄箱、幼児用ベッド等

❸ **補助金額**　：
- 導入に要した経費の1/2以内の額（ただし、机・椅子は、１セットあたり上限18千円）
- ぎふ木育ひろばの設置に要する経費の10/10以内の額（ただし、1設備あたり上限400千円）

【令和３年度　支援予定団体】

事業主体	施設名称	所在地	導入予定製品（令和３年４月時点）
（学）小島学園	ひよし幼稚園	各務原市	ロッカー、上着掛け、収納棚
笠松町	下羽栗小学校	笠松町	ロッカー
（社福）八実会	認定こども園石山保育園	海津市	ロッカー
関市	安桜小学校ほか13小学校	関市	児童用机天板
美濃加茂市	山之上小学校ほか2小学校	美濃加茂市	児童用机天板
（社福）恵峰会	めぐみ保育園	中津川市	下駄箱
高山市	清見小学校、清見中学校	高山市	木製机、椅子

【令和２年度　導入事例】

山之上小学校（美濃加茂市）

みつづかこども園（大垣市）

ときつこども園（土岐市）

【利用者の声】
- 木の持つ温かみや手触りがよく、子どもたちの表情が様々であり、木ならではの楽しみ方や発見がある。
- 高級感、安心感がある。明るい感じがする。
- 木製品に触れることで、森林の現状や活用、製品の加工工程等を知るきっかけになる。

【県産材流通課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課消費対策係まで

シリーズ

「住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり活動」

県では清流の国ぎふ地域活動支援事業（清流の国ぎふ森林・環境税活用事業）により、各種団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくりや川づくり活動を支援しています。

こうした団体の活動内容について、連載でご紹介します。

郡上漁業協同組合

●設立年
・昭和27年

●設立目的
・郡上市内の長良川水系における漁業権の管理

●主な活動分野・活動内容
・郡上市内の長良川水系における漁業及び遊漁の管理・調整　等

●令和3年度地域活動支援事業名
・第11回長良川源流の森育成事業

●事業内容
・広葉樹の持つ高い水源涵養機能に着目し、源流部の森を育成することで豊かな生態系を維持・増進し、日本一の郡上鮎を育む長良川を未来に繋げることを目的とし、人工林皆伐地において広葉樹の植栽活動を実施する。

●事業目標や事業効果
・植栽面積：0・32ヘクタール
・植栽本数：500本
・植栽参加者：40名
・自然体験学習：小中高10校（150名）

●自由記載
郡上漁協では、平成26年度より、地域活動支援事業を活用し、源流の森づくりの活動を実施しています。

参加募集は郡上漁協のホームページで実施しており、郡上市民はもちろん、市外の釣愛好家の参加もあります（令和3年度は新型コロナウイルス蔓延防止措置の施行により規模縮小）。

源流の森づくりの活動の他、市内の小中学校で森づくりや川づくりについて、自然体験学習を実施しています。

今後も引き続き、源流の森づくり活動を継続していく予定です。

問い合わせ先
郡上漁業協同組合　TEL：0575―65―2562

昭和造園土木株式会社

●設立年
・昭和49年

●設立目的
・造園、築庭、土壌保全等に関する工事の設計、施工、監督、指導等

●主な活動分野・活動内容
・岐阜市内での里山林整備、岐阜県百年公園での木育ｗｓ等

●令和3年度地域活動支援事業名
・百年公園の森をつなぐ木育ｗｓ事業

●事業内容
・岐阜県百年公園（関市）内で整備伐採された材料を活用した木育ｗｓや公園内の自然や設備を活用した木育ｗｓの実施

●事業目標や事業効果
・ｗｓ開催：10回（4月から1月まで毎月開催）
・参加人数：116人

●自由記載
昭和造園土木株式会社は岐阜県百年公園の指定管理の自主事業として、公園のレストハウスにおいて、木育ｗｓを実施しています。

令和2年度には地域活動支援事業のプラスチックごみ対策のモデル事業にも採択され、木製ストロー製作のｗｓも実施しました。

今年度は、新たに、市民参加型の公園の新しい活用の在り方を模索しながら「竹林整備→徒渉池の清掃→竹水鉄砲づくり」などの、川上と川下の活動をつなげるｗｓを実施する予定です。

今後も引き続き、森と人を繋ぐ活動を継続していく予定です。

問い合わせ先
昭和造園土木株式会社　TEL：058―239―9245

森林と人を活かす知恵 102

木材の輸送過程を見つめる ウッドマイルズ

岐阜県立森林文化アカデミー　准教授●辻　充孝

「ウッドマイルズ」という言葉をご存知でしょうか。

名前の通り、木材（ウッド）の輸送距離（マイルズ）に関する環境指標です。今でこそ林業白書にも登場しますが、きっかけは森林文化アカデミー１期生の課題研究です。

２０２０年に学内にオープンした岐阜県産材１００％のｍｏｒｉｎｏｓを例にウッドマイルズ３つの指標を見てみましょう。

Ｖ字柱が特徴的な morinos

１．ウッドマイルズ

１つ目の指標は「ウッドマイルズ」です。木材１㎥あたりの平均輸送距離です。ｍｏｒｉｎｏｓのウッドマイルズは１２３㎞と計算されました。

あれっ、意外と大きい？？長野県や滋賀県まで行ってしまいそうです。

例えば、正面のＶ字柱の原木は、アカデミー演習林で調達しました。そのまま学内で加工して使用すれば、ウッドマイルズは１㎞もないでしょう。

ですが、さすがにアカデミーで加工するわけにもいかず、５１・９㎞離れた郡上市白鳥町にある工務店の加工場で、木材乾燥や材料検査、大工さんによる加工を行い、再度アカデミーに戻しています。ウッドマイルズは往復で１０３・８㎞となります。ｍｏｒｉｎｏｓ全体平均の１２３㎞に近いですね。

では、外材を使うとウッドマイルズはどの程度でしょうか。

例えば、梁によく使用される米松で、概ね８，２００㎞、建具や家具などに、よく使用される欧州材で、概ね２１，４００㎞です。

ｍｏｒｉｎｏｓのウッドマイルズ１２３㎞が、いかに近くの木材かがわかります。

Ｖ字柱に使用した演習林内の 100 年生ヒノキ

２．流通把握度

２つ目の指標は「流通把握度」です。

伐採された山から現場まで、どれだけ経路を把握できているかの割合を示す指標です。ｍｏｒｉｎｏｓの流通把握度は77・５％と計算されました。

例えばＶ字柱は私たちが演習林に入ってマーキングし、どの経路で加工されて戻ってきたかの全てわかっているため流通把握度は１００％です。

ですが、合板や集成材などは岐阜県産材を使用したということはわかっていますが、全ての材で、どの山から伐出してきたかは把握しきれていません。それでも８割近い把握ができています。

３．CO_2削減率

３つ目の指標が「CO_2削減率」です。

木材の輸送過程でのCO_2排出量が国内平均と比べて削減された割合を示しています。ｍｏｒｉｎｏｓのCO_2削減率は80・３％と計算されました。（３９３１kgのCO_2削減）

例えば、海外からやってくる船便は大量の木材を効率的に輸送できますが、国内輸送のトラックは燃費が悪く、同じ材積、同じ距離を輸送するのに20倍以上ものCO²を排出することもあります。これらを考慮しても８割以上の削減を実現しています。

近くの木で建設する魅力は、携わった方の顔が見えやすく建物への愛着がわいたり、山の健全化につながったり、仕事を生み出し地域経済の活性化につながったりと様々です。

近くの木であることを定量的に表せるウッドマイルズ評価も活用してみませんか。

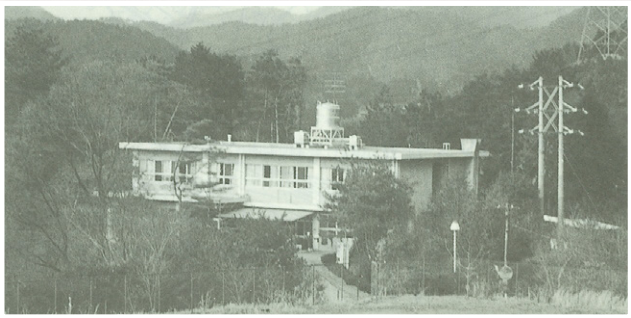
●詳しい内容を知りたい方は　TEL（0575）35-2525　県立森林文化アカデミー まで

岐阜県立森林文化アカデミー
開学までの歩み ―その1―

岐阜県立森林文化アカデミー（以下「アカデミー」）は、平成13年4月に岐阜県林業短期大学校を前身として開学し、令和3年3月末で創立20周年を迎えました。筆者は、平成8年度から3年間、アカデミーの開学準備を担当しました。そこで、2回に分けて、アカデミー開学までの歩みを綴ってみたいと思います。

前身の岐阜県林業短期大学校（以下「林短」）は、昭和46年に開校し、平成14年3月の閉校まで700人近い卒業生を、国、県、市町村、森林組合等に将来の林業を担う人材として送り出しました。ちなみに、林短の前身は、昭和30年に設立された緑化促進青年隊で、その後、昭和40年に林業青年研修所となり、昭和46年に日本初の林業専門の短期大学校として、岐阜県林業センター（美濃市曽代地内、現岐阜県森林研究所）の2階の一部と3階を林短エリアとして開校しました。右の写真は学生寮「緑心寮」です。林短は、1年生は学生寮で集団生活を送り、互いに協力し且つ切磋琢磨することで県の林業を担う人材の育成をめざしました。

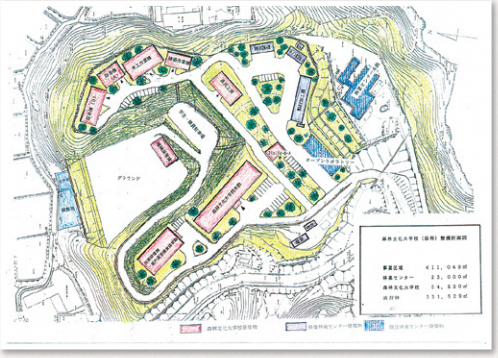
▲林短開校時の林業センター（美濃市曽代、現森林研究所）



▲「緑心寮」

【写真は林短30年記念誌「あすなろの記」より】

しかし時代の変化とともに、地域からの人材育成に対するニーズは、林業技術者のみならず、多様な観点から森林経営を担うことのできる人材へと変化し、これまでの林業短期大学校の成果を踏まえた新しい教育機関の整備が求められていました。そこで県では、平成4年度から内部検討を続け、平成7年第4回岐阜県議会において「森林文化大学校（仮称）という新たな教育機関を設立する方針」を知事が表明しました。平成9年3月には、熊崎實（筑波大学教授：初代学長予定）を委員長に、今井通子（登山家・医師）、内井乃生（文化女子大学教授）、荏開津典生（千葉経済大学教授）、金城俊夫（岐阜大学学長）、佐々木高明（国立民族学博物館館長）、原重一（(財)日本交通公社理事・調査部長）、森巌夫（明海大学教授）（敬称略、肩書きは委員会の時点）を委員とする「森林文化大学校（仮称）開学準備委員会」を設置し、開学に向けた具体的な議論を始めました。学校の構成は専修教育部門、技術研修部門、生涯学習部門の3部門で、平成13年4月のアカデミー開学時と同じです。右の図は当初の施設配置図で、写真の白線の範囲が敷地全景です。開学準備委員会で各部門の内容について議論が深化し、森林文化大学校が森林文化アカデミーに変わって行く中で、施設及び敷地が現在の形になります。その状況は「その2」（9月号掲載予定）で紹介します。



【山林協会　瀬上】

木の香る
ぎふの施設
100

内装木質化

岐阜県立大垣商業高等学校食堂

大垣市開発町4－300

施設全景

施設概要

事業年度	令和元年度
事業主体	岐阜県
構造 延床面積	鉄筋コンクリート造り 493.07㎡
施設用途	定時制の生徒・教員のための食堂
木材使用量 使用樹種	2.2152㎥ ヒノキ（県産材100%）
全体事業費	3,657千円(県有施設木質化等推進事業)
助 成 額	－
設 計 者	株式会社　村山建築設計事務所
施工業者	株式会社　鷲見建設工業
工　　期	令和元年7月5日～令和元年8月30日

施設の経緯

約50年前に建築された食堂棟は、建物の老朽化により内装にクラックが生じており、室内が暗いイメージでした。また従前の内装はコンクリート面の為、冷たい印象がありました。

今回、県の木質化事業で内装の改修を行い、県産のヒノキを使い壁面を新しくしました。壁面が木質化されることで、明るく温かみのある快適な食堂になりました。

ここに注目！！

給食の受け渡し、食器の返却場所に木をふんだんに取り入れることで木のぬくもりを感じることができます。

利用者の様子

コンクリートの食堂から激変したため、生徒は「食堂が明るくなった!」と喜んでいます。

■問い合わせ先
岐阜県立大垣商業高等学校
TEL 0584-81-4483

愛用する重機と澤田さん

森林づくりを通して地域社会に貢献したい！

NPO法人　杣の杜学舎
代表　澤田 良二さん

今回は、美濃市片知川源流地域での森林整備や市民への環境教育等に取り組む澤田さんを紹介します。

●「杣の杜学舎」の概要

NPO法人杣の杜学舎は、管理放棄により荒廃した森林の整備の実施や、一般市民や森林所有者に対する森林教室や各種講習会等を通じての森林環境に対する意識の向上を図るため、平成十四年十一月に鈴木章氏によって設立されました。令和二年四月からは澤田さんが代表に就任しています。

●澤田さんの前職

澤田さんは昭和四十七年生まれで笠松町の出身です。

大学卒業後、IT関連会社に就職するも、多忙な業務によって体調を崩したため退職。以前から登山やボルダリング等を通して興味があった林業について学ぶため、平成十六年に県立森林文化アカデミーへ入学しました。

しかし、指導を期待していた教授が異動することとなったため、同校を退学し、県内の林業事業体で働くこととしました。

●杣の杜学舎へ入るきっかけ

その後、林業事業体を経て中濃森林組合へ入り、高性能林業機械のオペレータとして搬出間伐等に取り組みました。その中で学んだ四万十式作業道づくりの教えは、今でも大切にしています。

組合では、美濃市担当の作業班の班長を五年間やらせてもらい、現場ノウハウや技術も身についてきた頃、独立して林業をやってみたいと思うようになりました。

そこで、平成二十九年にACフォレストを起業して、作業道づくりや特殊伐採の仕事などを始めました。

そんな折、杣の杜学舎の鈴木代表から「杣の杜学舎の代表を辞めようと思っているが、代表をやってみないか。」と勧誘を受けました。

大分悩みましたが、杣の杜学舎の将来性に憧れを感じたことから、同法人へ入ることとしました。

●仕事をするうえで大切にしていること

澤田さんの山仕事に対する思いは次のとおりです。

・木材生産機能のみではない山や森林の持っている様々な機能を高めたい。

片知川源流部のふくべの森エリアの共有林を水源林として維持管理するため、地元の皆様と協働で考え、間伐を行っています。

ふくべの森では、伝統文化の和傘支援に繋がるエゴノキプロジェクトも推進しています。

また、市内の緑地や登山道の整備、支障木の伐採等、景観やライフライン確保にも協力しています。

・環境負担が少ない作業道づくりを心がける。

森林整備には作業道が必要ですが、作業道開設に当たっては、環境負荷が最小限となる規格（幅員）の狭い道を必要最小限の延長で開設するようにしています。

・山仕事は一人では無理。

搬出間伐等の林産事業は、一人では効率的な作業ができません。

当法人では、森林文化アカデミーの学生を対象とした研修を行い、卒業後は即戦力となる人材養成に協力しています。

●今後について

近年、森林技術者の確保・育成のため様々な施策が講じられているところですが、地域に定着する人材は少ないのが現状です。

澤田さんは、これからも地域の森林環境の保全を図る活動等に取り組み、「自らが地域で林業を生業とする『山守』として活動を続けたいし、新たな山守を育てたい。」と語っておられました。澤田さんの今後の活躍が楽しみです。

整備された森林と管理路

【中濃農林事務所　坪井　一弘】

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-4011（内線231）
中濃農林事務所まで

治山・林道技術成果

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究等の取り組みを行っています。令和3年2月に行われた発表会で発表された取り組み成果を紹介します。

初めての治山 ～初心者向けFAQ作成～

岐阜農林事務所　小椋　俊輔
（現下呂農林事務所）

はじめに

私は、新規採用職員として岐阜農林事務所治山係に配属され、2年目で治山研究会での発表機会を得た。そこで、治山業務に携わって間もない今しかできないこととして、初心者向けFAQ（よくある質問）の作成をテーマにして取り組むことにした。

経緯

治山業務担当は工事経験が全くない職員であっても、配属されれば、その日から工事監督員として業務を行うことになる。何もわからない中で次から次へと業務を行い、関係者との対応をしなくてはならない。実際には、諸先輩にその都度教えてもらいながら業務を行い、知識や技術を身につけていくことになる。

しかし、限られた人員で治山業務を担当しているため、先輩職員も多くの仕事を抱えて時間の余裕がない。自分の担当業務をこなしながら指導することになるため、時間をかけて丁寧に説明できないとの声も聞かれた。初心者の側も、質問すること、教えてもらうことをためらってしまう。

このような状況から、先輩の手を煩わせず、業務遂行能力を高めるため、「FAQ」のようなものが必要だと考え、作成することにした。作成にあたっての目的は次の3点とした。

①初心者育成に役立てること。
②疑問に対する回答を文章にまとめることで自らの知識を確実なものにすること。
③初心者を指導する諸先輩方の負担を軽減すること。

作成手順

実用的なFAQを作成するために、工事経験の全くない職員や経験年数の少ない職員から聞き取りを行い、作成する項目を収集することにした。

具体的には、治山経験が1～3年の職員に「治山事業及び治山工事に関して入庁当初、分からなかった事」をメールで聞き取った。その結果、5人から回答があり、共通事項、技術事項、用語の3種類に分けた。

整理した疑問点の回答は、治山必携等の資料で調べたり、先輩の力を借りる等して作成した。

主なFAQの項目

集まった主なFAQの項目は、表のとおりであり、共通事項が最も多く、次いで技術事項が多かった。

用語については、「多くの用語があり、それぞれ挙げるときりがない」、「ベテランの方や現場の方は専門用語を使うため、分からないことが多い。仕方がないと思う」という意見が出た。

FAQの主な項目

共通事項	・治山事業の目的 ・砂防事業との違い ・予算の種類（当初・補正） ・事業の流れ（要望から完成まで） ・入札制度（指名・一般）　等
技術事項	・谷止工・床固工・土留工の違い ・段階確認の確認項目 ・現場での着眼ポイント ・任意仮設と指定仮設　等

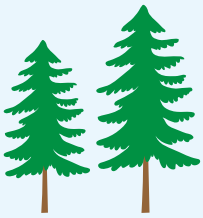
作成する中で感じたこと

初心者は、やはり工事・積算関係の疑問が多いと感じた。早期発注が求められ、配属されてすぐ工事の発注業務を行うため、工事・積算関係の疑問が多かったと推測される。今回、疑問として出された項目について、回答作成のため資料を確認し、先輩に質問することで再確認や、間違った知識の修正ができた。

用語については、今回のFAQでほとんど取り上げることができなかった。まだ知識が少なく、分からない言葉も多いので、文章で説明することが難しい。「百聞は一見に如かず」という諺のとおり、自分の目で見て確認することで知識の量を増やしていきたい。

まとめ

仕事を進めていく上で「何故これをやっているのか」、「この先はどうすればいいのか」など、疑問は尽きない。これからも疑問を少しずつまとめていき、自分のため、更には、初めて治山事業を担当する職員のためにも、FAQを作り続けたい。（一緒に作成した揖斐農林事務所の堀部一希さんにも感謝します。）



●詳しい内容を知りたい方は
TEL 058-278-0051
岐阜農林事務所まで

ヒノキ実生コンテナ苗の成長特性を考える

森林研究所●渡邉 仁志

確実な再造林を低コストで行うため、「成長に優れた」コンテナ苗に期待が寄せられています。しかし、全国調査の結果、通常のコンテナ苗には、裸苗に対する成長の優位性が認められませんでした。当所では、これに対し、育苗時の一年と植栽後の一年にわたり効力がある肥料（以下、超緩効性肥料）で育てたヒノキ実生コンテナ苗によって、植栽後の成長促進と下刈り期間の短縮ができる可能性を示しました（本誌七九二号参照）。

これは一調査地だけの結果でしたが、ヒノキ実生苗のより一般的な成長特性を把握するため、ここではさらに岐阜県下の複数の調査地の結果をまとめて評価しました。

データをたくさん集めた

関係機関との連携のもとに設定した調査地から、植栽時期や被陰の影響を除外するため、四～五月に植栽され、期間中は下刈りが実施された（または不要だった）調査区のみを抜き出しました。そのうえで、苗を裸苗（以下、B群）、標準コンテナ苗（C1群）、超緩効性肥料を元肥として育てた改良コンテナ苗（C2群）に分け、一三調査地六七調査区における約四二〇〇本分のデータを用いて、植栽後二年間の生存率と成長を苗群ごとに比べました

コンテナ苗の成長特性は？

生存率は、概ね80％以上でしたが、B群には50％程度と特に低い調査区がありました。植栽時や直後の気候条件が影響したようです。また、苗群間の平均生存率を比較すると、B群＝C1群＜C2群の傾向（統計的な差、以下同じ）がありました。つまりC2群の苗は、植栽初期に枯死しにくかった可能性があります。

枯死木や損傷木を除いて解析すると、植栽時のC2群は、樹高においてC1群より、根元直径において他の苗群より小さい傾向がありました（図1a）。しかし、成長量は、樹高、根元直径ともに他の苗群より明らかに大きく、結果として、植栽二年後のC2群は、根元直径ではC1群より、樹高では他の苗群より大きくなりました（図1b）。一方、C1群にはこの傾向がみられませんでした（図1a、b）。

標準コンテナ苗の成長が裸苗と同等以下であったため、この結果には根鉢の有無よりも、育苗時に与えた肥料の種類の方が強く影響したと考えられます。このことから、一般的な傾向として、**育苗時に超緩効性肥料を与えたヒノキ実生コンテナ苗は、他の方法で育てた苗より植栽初期の成長が優れていることが分かりました。**

この超緩効性肥料を用いた育苗方法を、私たちはこれまでに種苗生産者に対して移転してきました。その結果、岐阜県内で生産されるヒノキのコンテナ苗は、現在、植栽後の成長にも配慮されたものが多くなっています。今後この技術が、下刈りの省力化技術とあわせて、再造林の推進に貢献できることを期待しています。

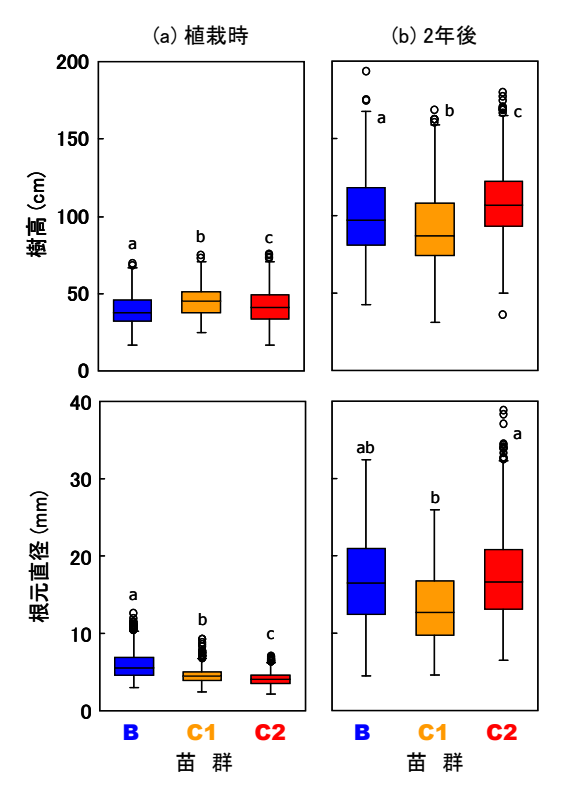


図１　苗群ごとの植栽時 (a) と２年後 (b) のサイズ

箱の横線は中央値、箱は四分位範囲、ひげの両端は箱の 1.5 倍内の最小値と最大値、○は外れ値を示す。異なるアルファベットは統計的な有意差を示す。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-33-2585
森林研究所まで

揖斐管内における主伐・再造林のその後の状況ついて

■揖斐農林事務所 林業課 林業普及指導員　田中 郁男

岐阜県では、人工林の林齢構成の平準化と本格的な木材利用を迎えた森林資源の循環利用を図るため、主伐・再造林を推進しています。

揖斐管内でも、次の2箇所で主伐・再造林を実施していますので、その後の状況について、紹介します。

揖斐川町谷汲岐礼地区（平成29年度、町有林の1.5haを主伐・再造林）

スギのコンテナ苗を2,200本／ha植栽し、くわんたいで獣害対策を実施しています。

この箇所では、プロットを2箇所（1プロット：50本）設置し、毎年、根本径、苗高等を測定しています。

○順調な生育状況

植栽木の苗高は、プロット1では、平均215㎝、プロット2では、平均178㎝へ伸長しています。根本径は、プロット1では、平均27・2㎜、プロット2では、平均23・3㎜へ肥大しています。

R1年度調査からは、僅かですが、くわんたい内部に雑木が混入して植栽木の成長を阻害している事例も見られました。

R2年度調査では、苗高が最も高いものは290㎝へ伸長しており、植栽木の先端が、くわんたいを突き抜けている個体も散見されるようになっています。

○くわんたいはいつ外す?

昼間でもシカを目撃するなど個体数が多い地域ですが、シカの食害が見られず、くわんたいの効果であることは明白です。

しかし、植栽木が順調に成長し、くわんたいを外す時期の難しい判断に直面しました。

個体差もあり、もう1年、設置することとしました。

○積雪により倒伏

ある日、現地を通ると、順調に生育していた植栽木の60～70％が倒れている状況が目に飛び込んできました。遠くから見た状況では、雪の重みで支柱ごと傾いているように見えましたが、現地へ足を踏み入れると、支柱が根元から折れているものも多く見られるなど、積雪の破壊力に驚かされました。

▲倒伏の状況

○雪起こしの実施

くわんたいをいつ外すか？という難しかった判断は、雪起こしとともに外すという結果の判断になってしまいました。

参考までに、近くで広葉樹植栽し、くわんたいを設置している箇所では、同じような倒伏の被害は見られないことから、植栽木の高さとくわんたいの重みが積雪に耐えられなかったものと想定されます。

揖斐川町久瀬日坂地区（令和元年度から令和3年度に、県有林約5・0haを主伐・再造林）

スギのコンテナ苗を1,600本／ha植栽し、TUBEXで獣害対策を実施しています。

○積雪により倒伏

谷汲地域で倒伏があったことから、雪解けを待ち、現地確認に行った結果、ざっと見て、30％程度が倒伏している状況を目のあたりにし、耐雪仕様のTUBEXの支柱までは、さすがに折れていないだろうと、現地へ足を踏み入れると、倒伏して

▲支柱が折れた状況

いる支柱は、根元から折れているものやひびが入っているものが見られました。他にもTUBEXと支柱の結束部分がひしゃげているものも見られました。

▲TUBEXの状況

○雪起こしの検討

雪起こしの実施にあたっては、次の課題が見えてきました。

①地表植生がなくアンカーとなる下層植生が少ない。また、別途アンカーを設置しても真砂土のため、効かない。

②折れた支柱は再設置が必要。早速、森林組合の森林技術者等や森林研究所の研究員とも現地検討し、次のような対応とすることとしました。

支柱の根元の折れやひびは目視しないと分からないことから、全部の状況を目視することとし、また、TUBEXと支柱の結束部分には、支柱上部に30㎝程度の余裕があることから、

①全ての植栽木の支柱をさらに深く打ち込む

②倒伏しているTUBEXは、起こした上で、支柱を同じように深く打ち込む

③折れている支柱は交換のうえ、通常の30㎝打ち込みに加え同じように深く打ち込む

ことしました。

今後について

主伐・再造林を進めるうえで、獣害対策については、くわんたいやTUBEX等の単木の獣害対策が効果を発揮していることが実証されました。

しかし、今回の積雪による倒伏により、雪の多い箇所や重い雪の箇所では、植栽木ごと倒れていたり、支柱が折れたり、TUBEXと支柱の結束部分が変形する事象が起きてしまいました。

今後、他地域の事例も参考に、支柱の強化等による倒伏防止と植栽木の成長に応じた獣害施設の撤去について検討する必要がありそうです。

また、久瀬日坂地区では、獣害ネットを設置している箇所もありますので、数年後の植栽木の生育状況も比較して、より良い方法を検討していきたいと思います。

今後、主伐・再造林による林齢の平準化を図っていくには、確実に効果のある獣害対策を実施していく必要があります。決して、これで主伐・再造林が停滞しないように対応していきたいと思います。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0585-23-1111
揖斐農林事務所まで

スマート林業通信 ⑬

OWL技能向上・普及研修を実施中です

林業の労働強度の軽減や労働災害の発生防止、作業の効率化を図るためには、林業もデジタル化を進める必要があります。

最新のデジタル機器である森林3次元計測システム（地上レーザ計測器OWL）を森林文化アカデミーに導入し、昨年12月にお披露目を兼ねて林業関係者を対象に操作研修会を開催しました。

今年2月からは林業デジタル機器貸出要綱を定め、農林事務所等が主催する研修会にOWLの貸出を行っています。他にも、林業事業体から相談があれば個別指導や研修会の開催、森林文化アカデミーの授業でも講師を務めています。

OWLの貸出または研修会の一例を紹介すると、3月には東濃農林事務所へ貸出、4月は中濃農林事務所で研修会、5月には可茂農林事務所へ貸出を行いました。すでにOWLを持っている事業体へは技能の向上、OWLを体験したい市町村や事業体にはデジタル化の浸透に向けて普及活動を行うことができました。

OWLの他に、森林文化アカデミーにはハーベスタシミュレータと伐木技術教育VRシミュレーターも導入しており、これらの機器は現場で機械を操作する森林技術者の育成に活用していきたいと考えています。

農林事務所、市町村、林業事業体で積極的に研修会を企画していただき、講師についても気軽にお声かけください。

▲OWL現地研修

▲OWL解析研修

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー
スマート林業推進係まで

国有林の現場から 57

「森の巨人たち」in 東濃

林野庁では次世代に残すべき国有林の代表的な巨樹・巨木を「森の巨人たち百選」として選定しているところです。

今回は、東濃森林管理署管内の国有林に所在する巨樹・巨木を紹介します。

①「神坂（みさか）大檜」は中津川市の湯舟沢国有林にあり、幹周りは七二二センチメートル、樹高が二五メートルあります。神坂大檜の周辺は木曽五木を中心とした樹齢二五〇年生以上の天然林が広がっています。一九九七年に発見され、森の巨人たち百選に選定されました。

▲神坂大檜

②「笠木」は恵那市の上村恵那国有林にあるヒノキで、森の巨人たち百選に選定されています。幹周りは七五四センチメートル、樹高が二六メートルあります。笠木の由来ですが戦国時代に恵那の笠置地方の監視ができたためといわれています。

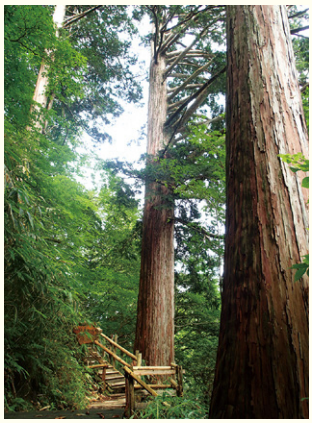
▲笠木

③「初代大檜」は中津川市の加子母裏木曽国有林にあり、江戸時代後期に大量伐採によって災害が続いたことから、天保九年（一八三八）に徳川幕府が裏木曽一の大木を神木としてきましたが、昭和九年の室戸台風により折損し、昭和二九年に学術参考のため伐採されました。この初代大檜は推定樹齢約九五〇年、切り株の平均胸高直径は二二〇センチメートルあったといわれています。なお、この初代大檜は年輪板が作られ、中津川市付知町の護山神社などに保存展示されています。

▲初代大檜

④「二代目大檜」は初代大檜の伐採後、大檜たる威厳と風格を備えた名木は簡単には見つかりませんでしたが、昭和五六年に加子母裏木曽国有林で発見されました。

胸高直径は一五四センチメートル、樹高が二六メートルあり、現在は、森林学習の場として林業関係者の研修、学生を対象とした森林環境教育のフィールド、あわせて地元の方を講師としたガイドツアーも行われているところです。



▲二代目大檜

現地への入山にあたっては、登山と同様自己責任が原則となります。

また、天候や登山情報等を確認し、十分な装備での入林をお願いします。

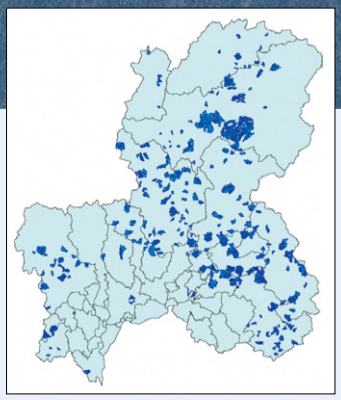
なお、入林届等の諸手続が必要となる場合や車道、林道を通行し歩道等を歩くことが必要となりますので、これらの巨木の散策等をする場合は、事前に東濃森林管理署に確認をお願いします。

アクセス

公共交通機関の利用は出来ません。

（東濃森林管理署）

水源地域において、土地の売買等又は開発行為を行おうとする場合は事前の届出が必要です


水源地域の指定状況

県では、「清流の国ぎふ」の大切な水源を保全するため岐阜県水源地域保全条例を制定しています。

条例に基づき、令和３年６月末現在、22市町村、271箇所、約６万７千ヘクタールの森林が水源地域に指定されています。

水源地域に指定された土地の売買等を行う場合は、30日前までに県への届出が必要です。

また、1ha以下の開発や、建物等の設置、水の採取を行う場合は、60日前までに県への届出が必要です。

水源地域の位置や届出の詳しい内容は、県ホームページでご確認いただけます。

岐阜県水源地域保全条例　検索

この条例は、水源林が私たちの知らないうちに売買され、違法に木が伐採されたり、山が開発されたりすることを防ぐための重要な役割を果たしていますので、事前届出にご協力をお願いします。

水道施設と水源林（高山市清見町）

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8496 治山課水源林保全係まで

森林・林業関係イベントカレンダー（7～8月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
7月27日㈫～ 7月30日㈮	**フォークリフト運転技能講習** 【受講資格】 自動車普通運転免許所持者	●講習時間　1日目　学科　8:50～17:05 学科試験　17:10～18:10 2～4日目　実技・試験　8:00～17:30 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円（本代含む）（振込み） ●定　員：20名（定員になり次第締め切ります。）	学科　伊自良中央公民館（山県市大門 912-1） 実技　ぎふ農協旧伊自良共選場（山県市洞田 127-5） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
8月3日㈫～ 8月4日㈬	**伐木等機械の運転業務特別教育**	●講習時間　3日　学科　9:00～16:00 4日　実技　9:00～16:00 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：46,200円（本代含む）（振込み） ●定　員：30名（定員になり次第締め切ります。） （学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が10名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。）	3日（学科）　ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東 2-5-6） 4日（実技）　中濃地内山林（予定） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
8月26日㈭～ 8月27日㈮	**木材加工用機械作業主任者技能講習**	●講習時間　26日～27日　8:30～17:40 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：17,600円（本代含む）（振込み） ●定　員：30名（定員になり次第締め切ります。）	JA ひだ吉城営農センター 2F（飛騨市古川町上野 571-1） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195

COLUMN

コラム

4月から環境企画課自然公園係に配属となりました。慣れない仕事に悪戦苦闘しております。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、県外への移動自粛など感染対策が継続していることから、ストレス解消対策として身近な自然へのふれあいが見直されているところです。

自分も、休日には妻と一緒にちょっとした山歩きや散策に出掛けたりするようになりました。ちなみに、岐阜県内には、2つの国立公園、2つの国定公園、15の県立自然公園があります。それぞれに違った魅力がありますので、全箇所制覇を目指すつもりです。

みなさんも、まだ行ったことのない自然公園があると思いますので、ぜひこの機会に出掛けてみてはどうでしょうか。なお、登山する際にマスクを着けることは少ないのかもしれませんが、人とすれ違う時はマスクをするなどの最低限のエチケットを守りながら、ストレス解消を行いましょう。

「森林のたより」編集委員　正村 慎也

イベント情報

8月1日発行

連載
- 山の歳時記（192）
- 山のおじゃまむし（361）

清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵（103）

木と親しむ
- 岐阜県の公共木造建築（101）

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術
- 研究・普及コーナー

市況情報　**その他**

8月号予定

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位：円（1㎥当たり）

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1763回 岐阜共販所 6月15日	すぎ	3 m	16～18cm	13,500	―	単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格
		4 m	16～18cm	12,600	―	
			20～22cm	14,300	―	
			24～28cm	14,200	―	
			30cm以上	13,300	22,300	
		6 m	16～18cm	―	―	
	ひのき	3 m	16～18cm	21,000	―	
			20cm以上	19,000	26,000	
		4 m	16～22cm	21,000	―	
			24～28cm	16,800	―	
			30cm以上	16,200	220,000	
		6 m	16～18cm	―	―	
第1342回 飛騨共販所 6月9日	すぎ	3 m	16～22cm	12,000	―	
		4 m	24～28cm	12,500	―	
			30cm以上	13,000	―	
	ひのき	3 m	16～18cm	19,000	―	
		4 m	20～22cm	18,000	20,000	
			24～28cm	18,000	21,000	
			30cm以上	19,000	―	
		6 m	16～20cm	24,000	―	
	まつ	4 m	24～28cm	8,000	―	
			30cm以上	8,000	―	
	ひめこ	4 m	24～28cm	12,000	―	
			30cm以上	12,000	―	
		5 m	30cm以上	―	―	
	くり	4 m	24cm以上	15,000	35,000	
第1673回 東濃共販所 6月10日	すぎ	3 m	16～22cm	13,500	―	
		4 m	24～28cm	14,200	―	
			30cm以上元	13,300	16,000	
	ひのき	3 m	16～22cm	20,000	37,000	
			24～28cm	17,500	27,000	
			30cm以上元	18,000	33,000	
		4 m	13cm以下	10,000	―	
			24～28cm	18,500	29,000	
			30cm以上元	19,000	34,000	
		6 m	18～22cm	26,000	―	
	まつ	4 m	22～28cm梁	5,000	―	
			30cm以上元	6,000	―	

木材市場

【商況】

前回に引き続き、構造材向けは続伸。市況全般にわたり上げ基調となった。各需要先、在庫できず、深刻な資材不足は継続。今後の市況に留意ください。スギ4m中目、尺上　元木良材は応札多数、強気。スギ並材3m·4m非常に需要が高く強気。3m（16～22cm）直造材が有利。 ヒノキ元木良材30cm上、40cm上強含み。ヒノキ柱材3m、土台4m価格は、今後かなり強気気配。4m土台取りが急騰。合板向けはスギ、ヒノキともに在庫不足。ラミナ向けも併せて特にスギが強気。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに在庫不足、需要高。（岐阜）

スギ·ヒノキ並材は応札旺盛にて強含保合。スギ大径木は応札多く完売。広葉樹は全般的に応札多く特にクリ、サクラ、トチについては応札旺盛。他の高値はイチイ2.2m×30㎝@130,000円　マクルミ2.2m×36cm@33,000円　キハダ4.2m×34cm@27,000円　ウダイ2.1m×42cm@34,000円　クリ6m×32cm@80,000円　トチ2.2m×32cm@34,000円（飛騨）

全般的に、スギ·ヒノキ、並材（16～22cm）は、応札旺盛にて強含保合。ヒノキ元木、良材2m、3m、4m（高齢材及び枝打材など（特殊材））には応札旺盛にて保合。ヒノキ並材3m、4m（16～22cm）は、需要があり価格は上向き気配にて強含保合。スギ並材は、3m、4m（16～28cm）は、応札旺盛にて保合。（東濃）

製品卸売標準価格（5月期）

（単位：円）

樹種	用途	寸法（mm） 長	巾	高	等級	m³当り価格	（本（枚）単価）	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000～70,000	（2,150～2,315）	↗
	間柱	3000	105	30	1等	65,000～70,000	（614～662）	↗
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	85,000～90,000	（3,749～3,969）	↗
	柱	3000	120	120	特等	80,000～85,000	（3,456～3,672）	↗
		3000	120	120	（東濃松）特等	85,000～90,000	（3,672～3,888）	↗
		6000	120	120	特等	130,000	（ 11,232）	↗
Wウッド集成材	柱	3000	105	105	国産5層	70,000	（ 2,300）	↗
		3000	120	120	国産5層	70,000	（ 3,000）	↗

※日刊木材新聞調べ（名古屋標準相場　全てKD材）

外材市況（5月期）

1㎥当り（価格単価：100円）

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	342	米栂	ヘム（アラスカ産）	310
	コースト（目荒）	342～345	米ひば	ポール	342

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場（径級は30㎝上、米松コーストのみ大阪相場）

カスケード利用

木材用語一口メモ

木材利用の理想的な形とされており、それぞれの質に応じて順番にマテリアル（製材、合板、集成材等）やエネルギー（製品の製造·利用過程で発生する副産物をバイオマス発電や熱に利用）に利用すること。

（参考）日刊木材新聞社　木材·建材用語辞典